

2020年3月期第2四半期 決算説明会

2019年11月27日

ニチバン株式会社

代表取締役社長 高津 敏明



目次

1. 2020年3月期第2四半期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 当期（2020年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】
5. 《ニチバン》について

損益概要

(2Q累計期間)

売上高減収 $\triangle 4.4\%$

営業利益減益 $\triangle 6.6\%$

原価率ダウン（粗利益率アップ）、販管費増

(単位：億円)

	2019年3月期2Q累計		2020年3月期2Q累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	233.2	100%	222.9	100%	$\triangle 10.3$	$\triangle 4.4\%$
売上総利益	75.8	32.5%	76.8	34.4%	1.0	1.3%
販管費	58.3	25.0%	60.5	27.1%	2.1	3.6%
営業利益	17.5	7.5%	16.3	7.3%	$\triangle 1.1$	$\triangle 6.6\%$
経常利益	18.4	7.9%	16.8	7.6%	$\triangle 1.6$	$\triangle 8.6\%$
当期純利益	11.8	5.1%	9.7	4.4%	$\triangle 2.1$	$\triangle 17.5\%$
R O E	3.5%		2.7%		$\triangle 0.8p$	
(事業別売上高)						
メディカル事業	103.0	44%	98.5	44%	$\triangle 4.5$	$\triangle 4.4\%$
テープ事業	114.0	49%	108.6	49%	$\triangle 5.4$	$\triangle 4.7\%$
海外事業	16.2	7%	15.8	7%	$\triangle 0.4$	$\triangle 2.4\%$

損益概要

(四半期間)

1Q：大幅落ち込み

2Q：売上高落ち込み幅縮小、利益は反転・微増益※

※2Qは前期に自然災害・天候不順によるマイナス影響あり

(単位：億円)

	1Q			2Q			2Q累計		
	実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比	
売上高	104.9	△8.4	△7.4%	118.0	△1.9	△1.6%	222.9	△10.3	△4.4%
売上総利益	36.7	△0.4	△1.2%	40.1	1.4	3.6%	76.8	1.0	1.3%
販管費	29.3	1.4	5.1%	31.2	0.7	2.2%	60.5	2.1	3.6%
営業利益	7.4	△1.9	△20.2%	8.9	0.7	8.9%	16.3	△1.1	△6.6%
当期純利益	3.4	△2.8	△45.6%	6.3	0.8	13.5%	9.7	△2.1	△17.5%

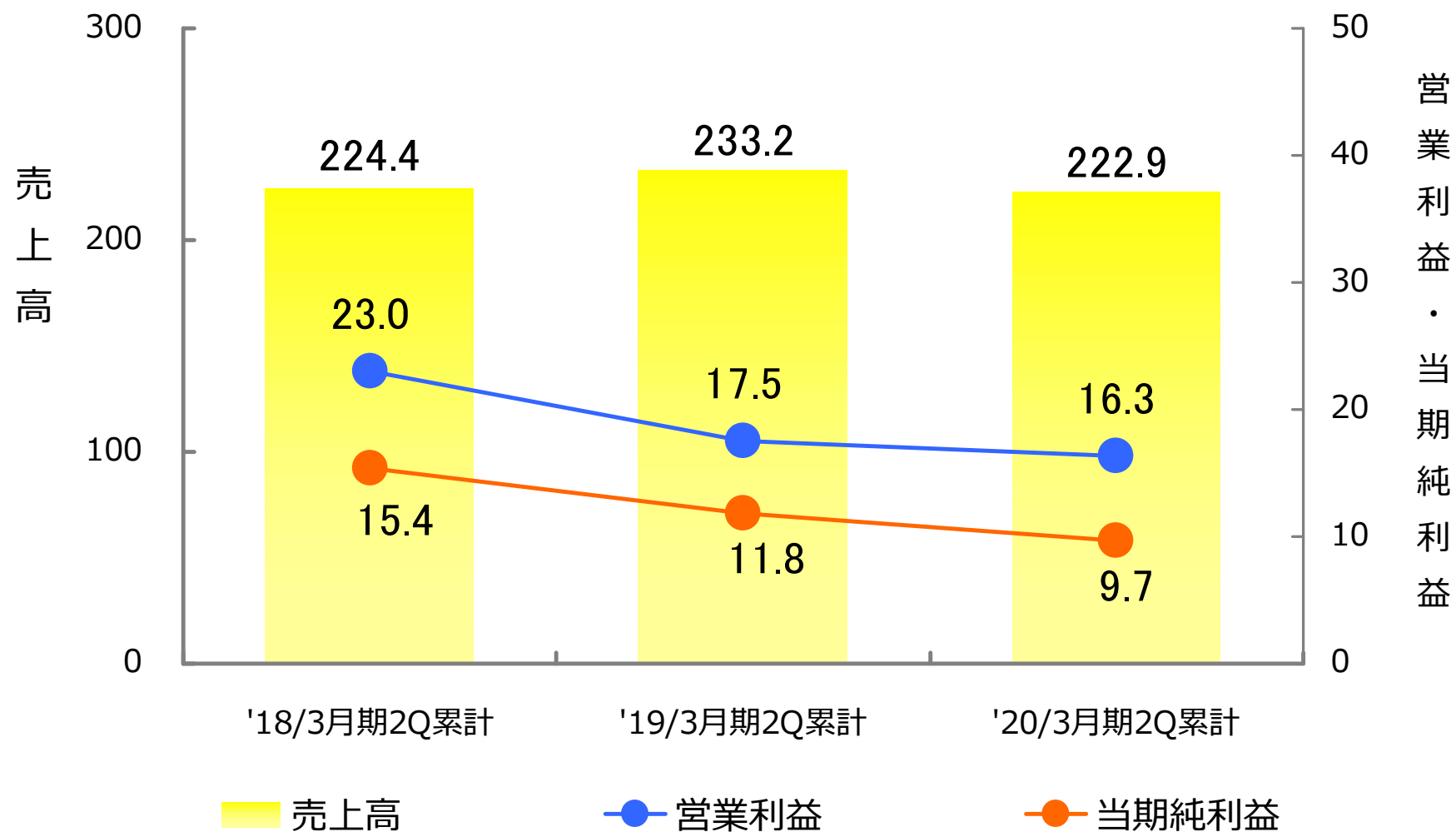
(事業別売上高)

メディカル事業	47.4	△3.7	△7.2%	51.1	△0.9	△1.6%	98.5	△4.5	△4.4%
テープ事業	50.2	△4.6	△8.4%	58.4	△0.8	△1.4%	108.6	△5.4	△4.7%
海外事業	7.3	△0.1	△2.0%	8.5	△0.2	△2.7%	15.8	△0.4	△2.4%



損益推移

(単位:億円)



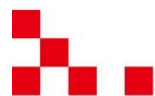
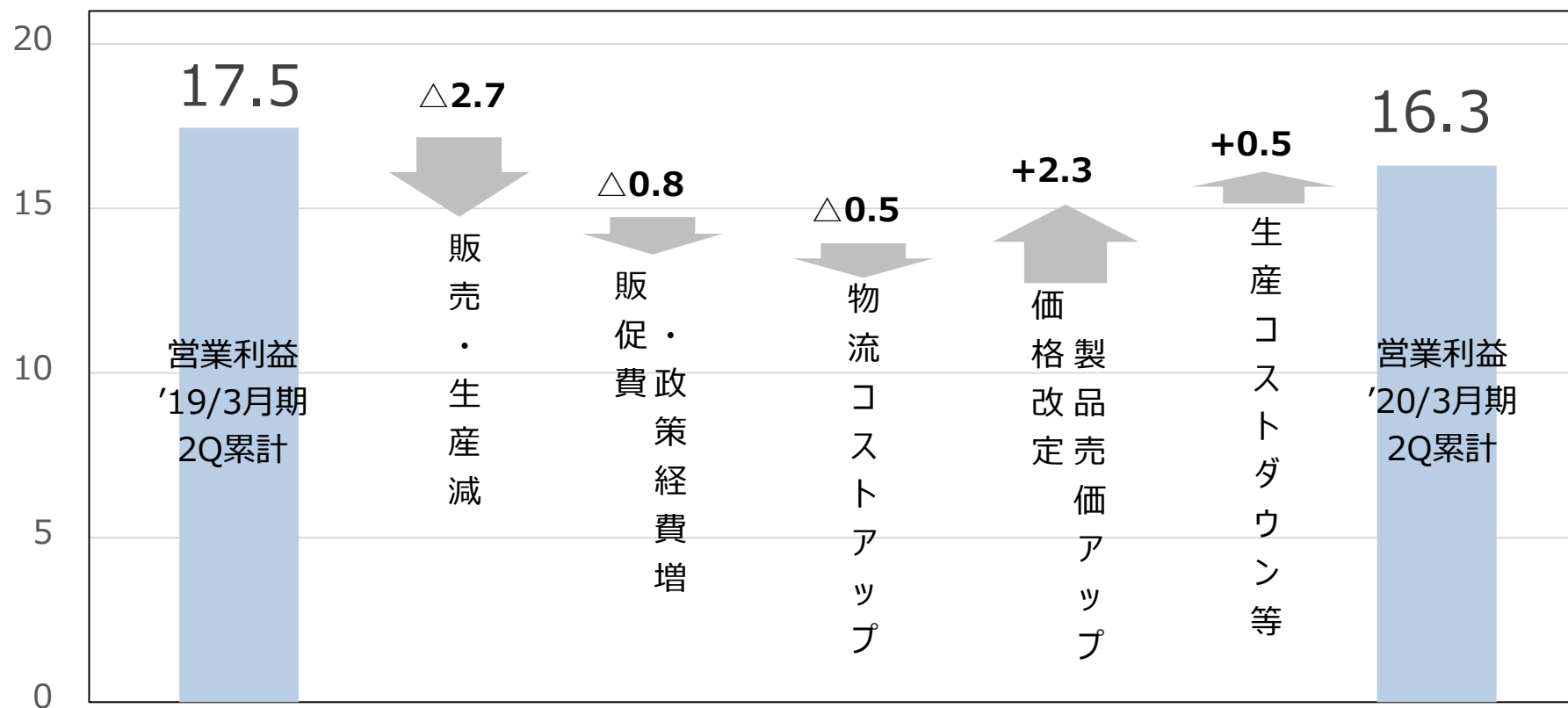


営業利益増減

減益 1.2 億円

販売・生産減、販管費増、売価アップ

(単位：億円)



バランシート

流動資産：売上債権減少（前期末の休日影響）

流動負債減少（設備未払金、一年内返済予定の長期借入金）

固定負債増加（長期借入金）

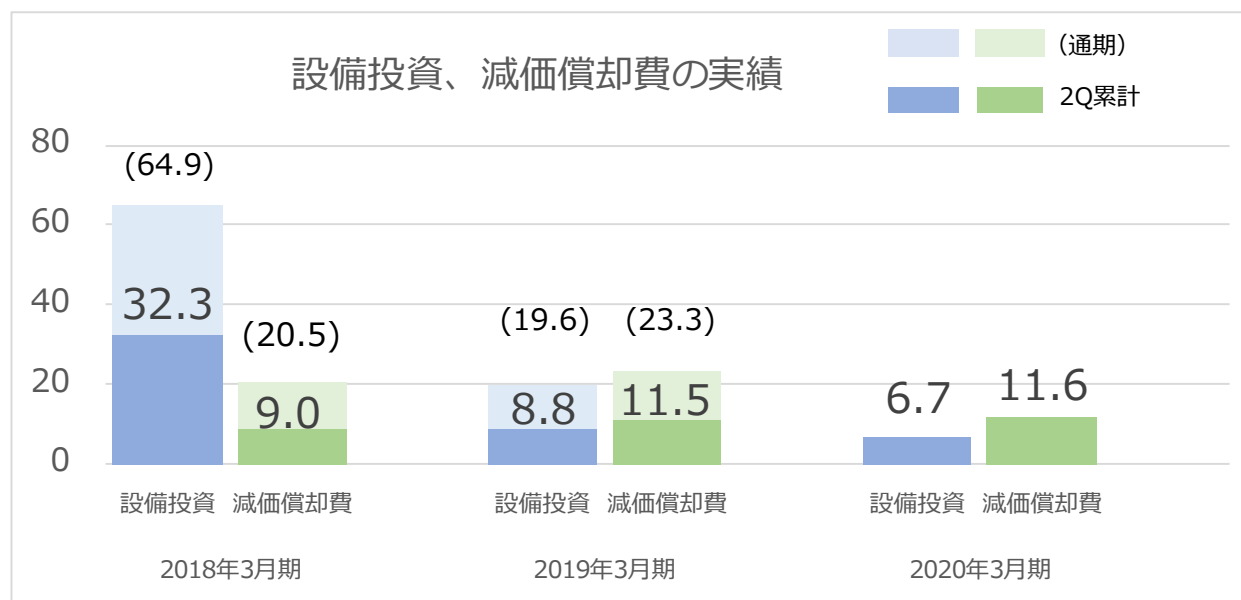
（単位：億円）

	2019年3月期末 (2019年3月31日)		2020年3月期2Q末 (2019年9月30日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	324.3	53.8%	318.6	53.8%	△5.7
現預金・有価証券	82.3	13.6%	97.6	16.5%	15.3
売上債権	156.3	25.9%	136.0	23.0%	△20.3
棚卸資産	79.0	13.1%	81.1	13.7%	2.1
その他	6.7	1.1%	3.9	0.7%	△2.8
固定資産	279.0	46.2%	273.4	46.2%	△5.6
資産合計	603.3	100%	592.0	100%	△11.3
流動負債	174.6	28.9%	141.5	23.9%	△33.1
固定負債	63.9	10.6%	84.1	14.2%	20.2
負債合計	238.5	39.5%	225.6	38.1%	△12.9
純資産合計	364.8	60.5%	366.4	61.9%	1.6
負債・純資産合計	603.3	100%	592.0	100%	△11.3

設備投資・減価償却費

設備投資 : 減少 (前々期は医薬品新工場完成)

減価償却費 : 横ばい



当期主要投資

- メディカル安城工場
建屋空調・給排気設備
- ニチバンメディカル
建屋温度管理設備
医療機器 (絆創膏)
- テープ安城工場
裁断包装機整備
- 埼玉工場
粘着剤製造設備整備
- その他
販売業務システム整備



キャッシュフロー

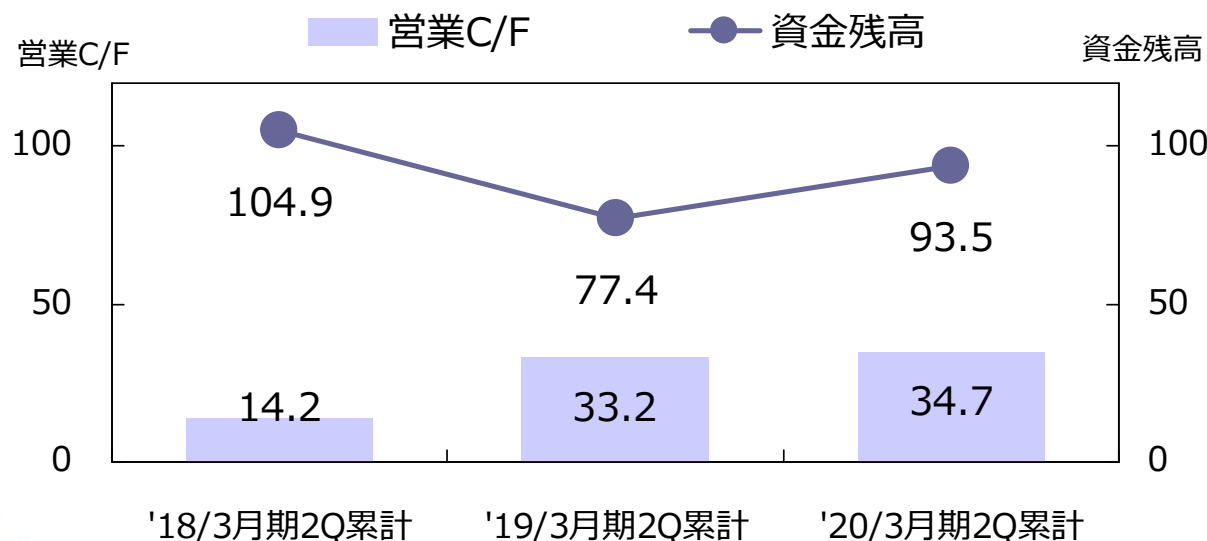
	'19/3月期2Q累計	20/3月期2Q累計	
	実績	実績	増減
営業活動によるC/F	33.2	34.7	1.5
投資活動によるC/F	△36.3	△10.9	25.4
フリーC/F	△3.1	23.8	26.9
財務活動によるC/F	0.9	△8.4	△9.3

(単位：億円)

フリーC/F・資金残高増加
(新工場投資完了)

主な増減項目

- 営業C/F
 - ・売上債権の減少
- 投資C/F
 - ・有形固定資産の取得





目次

1. 2020年3月期第2四半期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 当期（2020年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】
5. 《ニチバン》について

当グループを取り巻く環境

メディカル事業	ヘルスケア	大手ドラッグチェーンの業務提携・資本提携進展 インバウンド消費 韓国訪日客の大幅減 による下振れ 大型スポーツイベント開催に伴うスポーツ・運動サポート産業の活性化 消費増税 に伴う駆け込み需要と反動減
	医療材	医療現場の感染予防 安全性に対する意識の高まり 医療費抑制の流れによる医療材料調達コストの削減 共同購入の加速
テープ事業	オフィスホーム	文具事務用品市場での法人需要の伸び悩み 卸売小売業の取扱い品目多様化とPB商品の拡大継続 消費増税 に伴う駆け込み需要と反動減
	工業品	建築・インフラ産業の好況継続 自動車産業の技術進展と消費動向の変容 中国半導体不況等に伴う 電子部品関連生産 の大幅減 自然災害・天候不順 による農産物の収量低下
海外事業		東アジア情勢不安 生産・消費活動への懸念 米中貿易摩擦 輸出関連産業の停滞と経済全体への波及 英国のEU離脱 欧州経済圏での事業活動のマイナス影響
共通		個人消費と給与所得の安定的な増加基調の継続 緩和策による 消費増税後の景気停滞 の回避 設備投資動向の緩やかな増加基調から足踏みへの下振れ

事業フィールドレビュー [売上高]

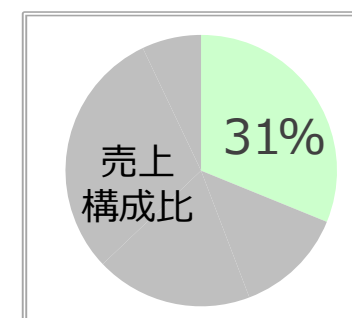
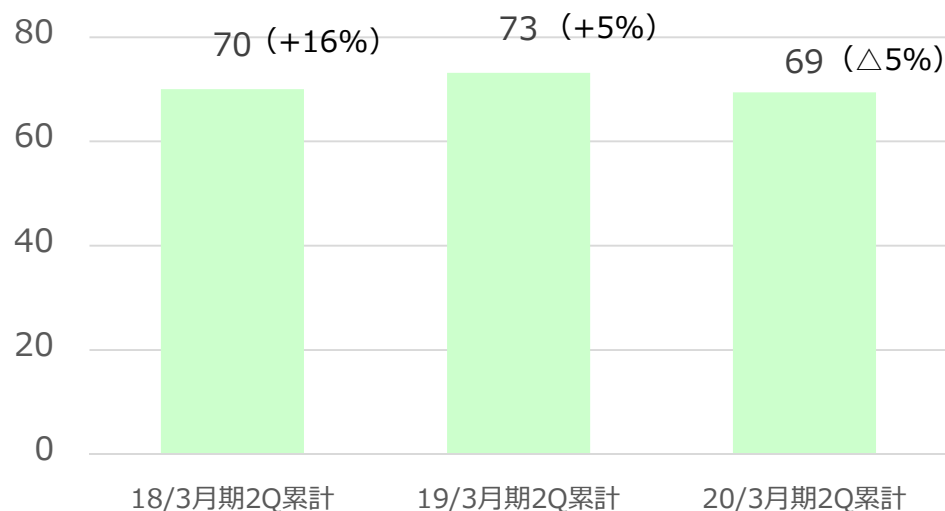
(単位：億円)

	2018年3月期 2Q累計		2019年3月期 2Q 累計		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
ヘルスケア	73	31%	69	31%	△5%
医療材	30	13%	29	13%	△3%
メディカル事業	103	44%	98	44%	△4%
オフィスホーム	43	19%	42	19%	△4%
工業品	71	30%	67	30%	△5%
テープ事業	114	49%	109	49%	△5%
海外事業	16	7%	16	7%	△2%
全社	233	100%	223	100%	△4%

事業フィールドレビュー [メディカル；ヘルスケア]

(単位：億円)

ヘルスケアフィールド 売上高



●主要製品の状況

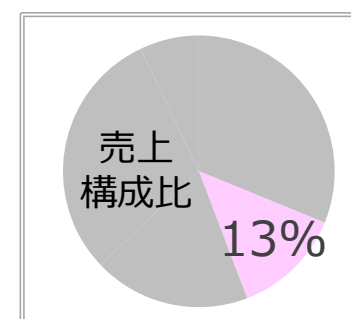
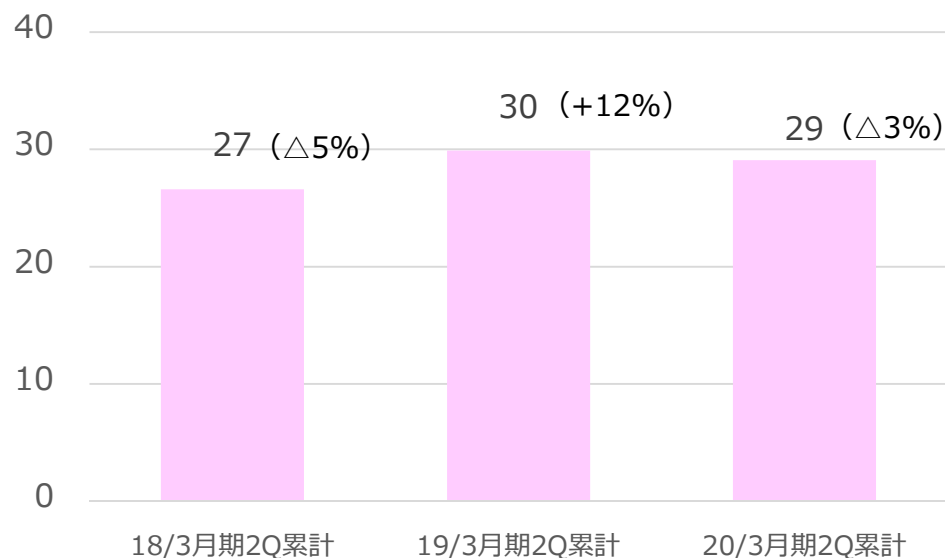
ケアリーヴ™	前期比 +5%	1Qは前期並み 2Qに拡大 一般タイプ、治すカ™防水タイプ好調
ロイヒ™	前期比△16%	国内一般消費はプロモーション成果もあり増加 インバウンド消費（韓国訪日客）が大幅減

- ケアリーヴ™ 消費者キャンペーンやテレビCMを中心とした大型プロモーション実施・新サイズ拡充
- ロイヒつぼ膏™ テレビCMによる認知拡大に注力
- 中国向けインバウンド施策 Webプロモーションを中心に実施

事業フィールドレビュー [メディカル；医療材]

(単位：億円)

医療材フィールド 売上高



●主要製品の状況

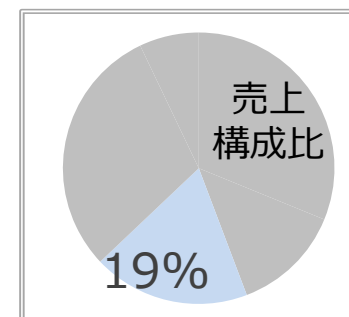
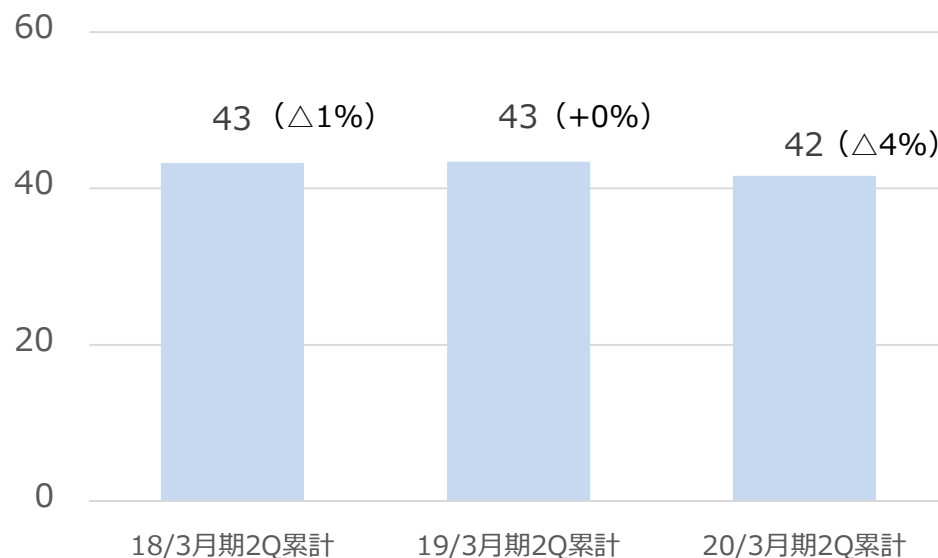
巻絆創膏	前期比+2%	低刺激品「スキナゲート™」が好調 汎用タイプは病院の調達コスト削減に苦戦
止血バン (セサブリック™)	前期比+4%	採血後の感染予防・安全意識に訴求 廉価競合品との競合のなか好調に推移
ドレッシング	前期比+5%	高透湿性ドレッシング「カテリープラス™」が 順調に採用
医療用貼付剤 (受託生産品)	前期比△33%	生産委託先からの受注減

- 低刺激・高透湿による付加価値を訴求
- 医療現場の安全・効率的な処置提案に向けた学術機能充実、学会出展およびセミナー開催
- 「術後ケア Ascablic™」は患者QOL向上の高評価もあり伸張、好調持続

事業フィールドレビュー [テープ ; オフィスホーム]

(単位 : 億円)

オフィスホームフィールド 売上高



●主要製品の状況

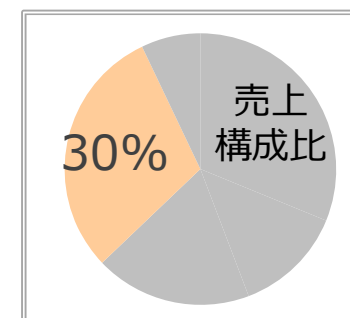
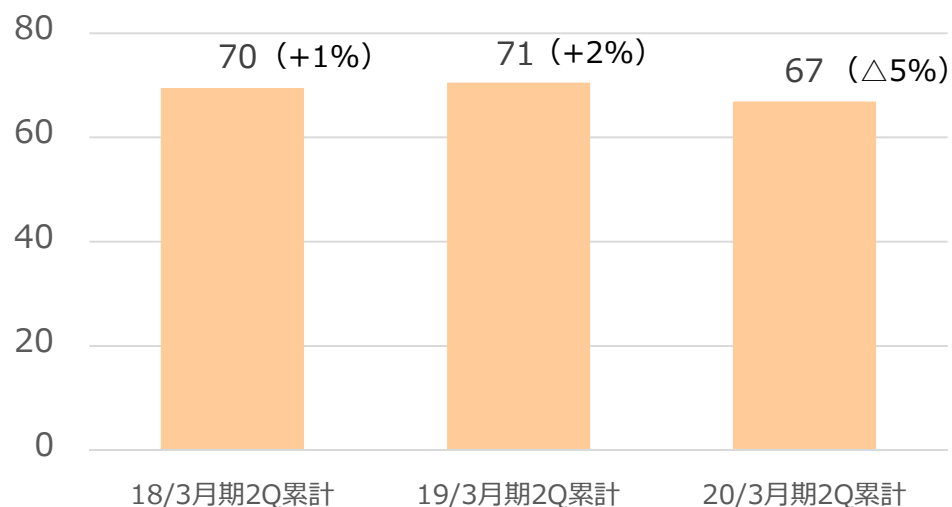
セロテープ®	前期比Δ4%	販売価格改定 市場流通の鈍化、在庫調整
ナイスタック™群	前期比+0%	販売価格改定 数量減も金額ベースでは前期維持

- パーソナルユース拡大に向けて「顧客の使用シーン提案」を機軸としたマーケティング強化新規開拓を推進
- ステーションナリー以外の家庭用製品展開
キッチン雑貨ブランド「ディアキチ™」の販路拡大・定着・育成を推進
- セロテープ®小巻カッターつきをくまっすぐ切れるタイプ> にリニューアル

事業フィールドレビュー [テープ ; 工業品]

(単位 : 億円)

工業品フィールド 売上高



● 主要製品の状況

包装用テープ	前期比△7%	セロテープ®及びクラフトテープ価格改定 前期末反動及び他社品切替により減少
マスキングテープ	前期比+3%	自動車向け 建築向けともに好調
野菜・結束テープ	前期比△5%	たばねら™ が台風など自然災害による野菜流通量減少の影響を受け大きく減少

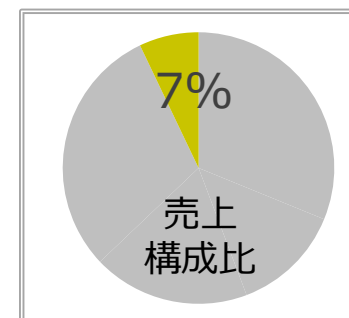
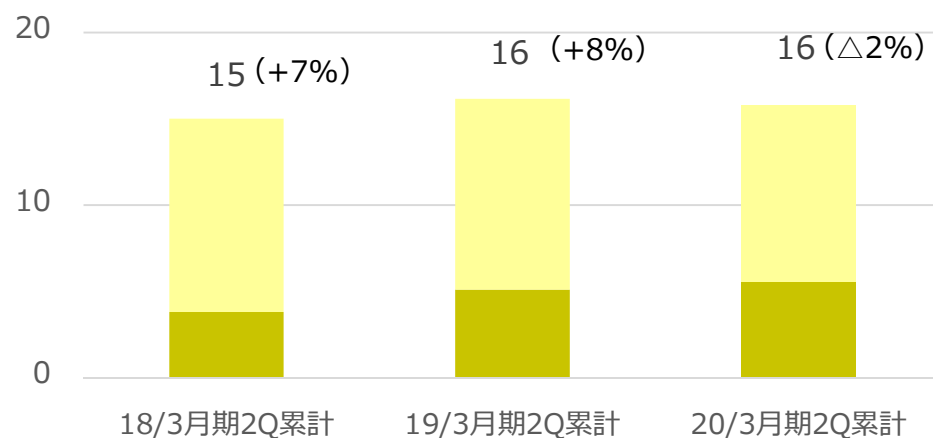
- セロテープ®クラフトテープの価格改定が浸透
- セロテープ®は従来の「主原料は天然素材」に加えセルロース素材の「脱プラ」訴求を検討
- 自然災害による農作物の流通減少でたばねら™テープが大きな影響を受ける
- 電気部材用テープは中国半導体不況・米中貿易摩擦の影響を受け大幅減
- 「食品・農業・建築」を注力分野とし新規開拓と用途拡大を推進

事業フィールドレビュー [海外]

海外フィールド 売上高

■ テープ製品 ■ メディカル製品

(単位：億円)



● 主要エリア

アジア	前期比Δ3%	ケアリーヴ™増 自動車保護関連大幅減
欧州	前期比Δ1%	止血製品はコンテナ出荷のタイミング もあり減少、和紙マスキング増

● 重点製品

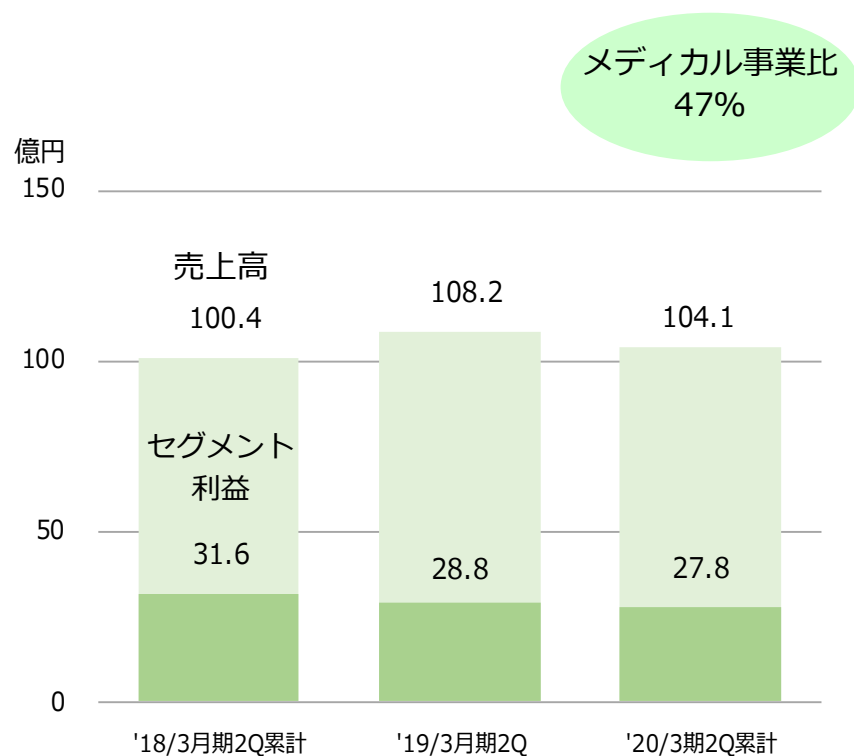
ケアリーヴ™	アジア向け伸張	前期比+28%
止血製品 Cesablic™	欧州向け減少	前期比Δ16%
和紙マスキングテープ	欧州向け増加	前期比+30%
Panfix™ セロハンテープ※		前期比 Δ8%

- ケアリーヴ™、止血製品 Cesablic™ はアジア・欧州市場に向けて新規拡大に注力
- 和紙マスキングテープは欧州市場に向けて建築塗装用途での販売に注力
- 事業拡大施策のスピードアップが大きな課題

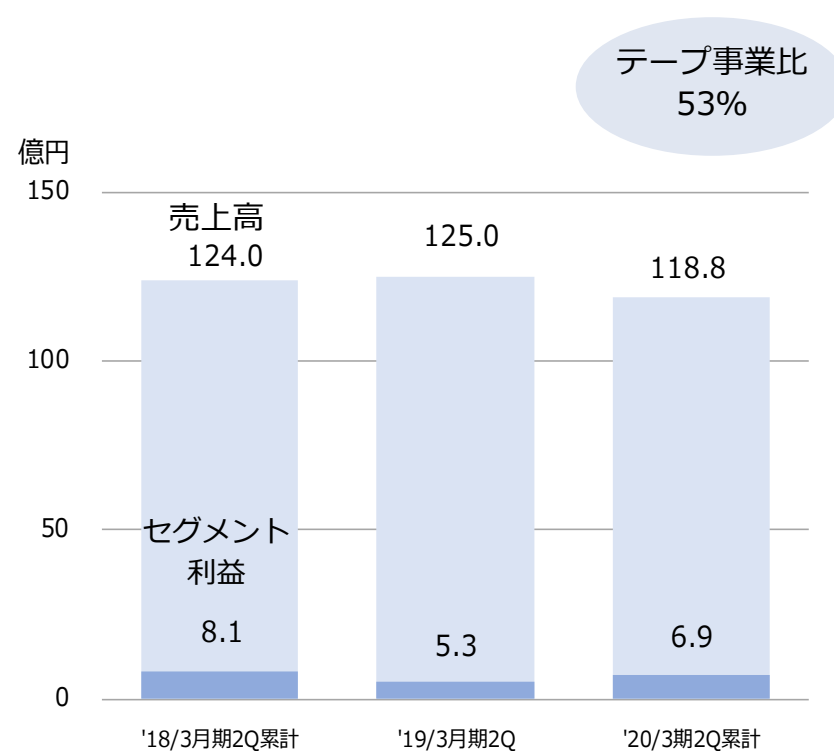
※海外向けセロハンテープ

参考：セグメント情報

メディカル（海外売上を含む）



テープ（海外売上を含む）





目次

1. 2020年3月期第2四半期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 当期（2020年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】
5. 《ニチバン》について

2020年3月期 業績予想

(単位：億円)

	2Q累計実績			下期 (3Q+4Q) 予想			通期予想		
	実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比	
売上高	222.9	△10.3	△4.4%	242.1	1.1	0.5%	465.0	△9.2	△1.9%
営業利益	16.3	△1.1	△6.6%	21.7	2.3	11.9%	38.0	1.2	3.1%
経常利益	16.8	△2.1	△11.0%	22.2	2.5	12.6%	39.0	0.4	1.0%
当期純利益	9.7	△2.1	△17.5%	16.3	△3.9	△19.2%	26.0	△5.9	△18.6%

下期および2021年3月期に向けて

- ・救急絆創膏 ケアリーヴ™ シェア拡大
- ・鎮痛消炎剤 ロイヒ™ 国内認知度向上
- ・battlewin™ テーピングテープ スポーツ需要取込
- ・Ascablic™ 術後ケア啓蒙 新規ユーザー開拓
- ・セロテープ® 天然素材 脱プラスチック訴求
- ・海外事業 事業基盤の確立と現地密着営業

下期および2021年3月期に向けて①

救急絆創膏 ケアリーヴ™

国内売上は安定成長継続

シェア拡大推進

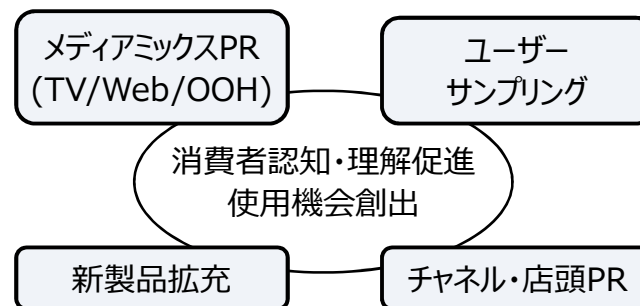
- ◆ トップブランド実現に向けて、高機能タイプ「治す力™」
メディアPR・ユーザーサンプリング・新製品拡充・チャネル施策実施

モイストヒーリング (湿潤療法)
でキズを治す

痛みをやわらげ
キズを早くきれいに
治したい時に



(共通)



鎮痛消炎剤 ロイヒ™

インバウンド大幅減 (韓国向け) によりマイナス反転

国内消費者認知度向上推進

- ◆ メディアPR・ドラッグ店頭ユーザー施策・チャネル施策・新製品拡充実施
- ◆ インバウンド取込 中国向け認知度向上 Web施策等実施

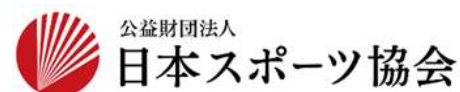


下期および2021年3月期に向けて②

battlewin™ テーピングテープ

2020年に開催される東京オリンピックなどに伴うスポーツ需要活性化に向けて
『けが予防、運動サポート』啓蒙

「日本スポーツ協会」
「JFA Youth & Development Programme」
オフィシャルパートナー契約



- ◆ 参加団体へのアプローチ、選手への製品提供
新製品紹介
- ◆ トレーナー向け講習会開催
- ◆ キーパーソンとの関係性構築、ユーザー拡大



BAC38FFOR



BAC50FFOR



術後ケア Ascablic™

手術直後の傷のケアから
手術後の傷あと（傷口が閉じたあと）のケアまで
「目立たない傷あと」を目指してサポート

- ◆ 医療従事者向け勉強会・学会出展・エビデンス拡充
- ◆ 医療卸活用 病院・クリニックに展開
- ◆ 医療現場のニーズを取り込む新製品拡充



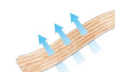
FASNAHT™
ファスナート™



SURGIFIT™
サージフィット™



Ato fine+
アトファイン



下期および2021年3月期に向けて③

●環境配慮製品 認知度向上策を推進



セロテープ® は 天然素材
だから、環境に優しい、そして使いやすい

OPPテープからの
(プラスチック製)
切替え推進

脱プラスチック

海洋プラ汚染対策

エシカル消費拡大

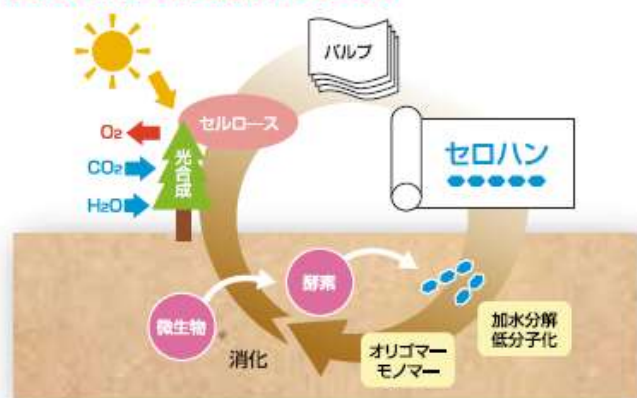
- ・セロハンは生分解する植物由来のフィルムです
- ・セロテープ®は セロハンと天然ゴムを主原料とする環境配慮製品です



バイオマス
登録No.050236

**バイオマス
マーク
認定商品**

■セロハンの生分解のしくみ



■セロテープ® とOPPテープの違い

	基材	粘着剤	生産地
セロテープ®	セロハン (植物由来)	ゴム系 (天然ゴム,天然樹脂)	日本
OPPテープ	ポリプロピレンフィルム (石油系)	アクリル系など	主に海外※

※OPPテープすべてが海外製ではありません

下期および2021年3月期に向けて④

重点製品を
アジア・欧州に展開



※海外向けセロハンテープ

デュッセルドルフ
駐在員事務所
2019.1～

ニチバン

NICHIBAN (THAILAND)

グローバル事業推進体制整備 現地密着営業を推進

- ◆ アセアン : NICHIBAN (THAILAND) CO.,LTD (タイ)
新規獲得・販売拡大中
- ◆ 欧州 : デュッセルドルフ駐在員事務所 (ドイツ)
将来の販社化を見据え、新規市場調査を推進中

主なターゲット国	ターゲット製品	進捗状況
韓国	ケアリーヴ™ Cesablic™	◎ 販売拡大中
中国	ケアリーヴ™ Cesablic™	△ 販売取組中
台湾	ケアリーヴ™ Cesablic™	○ 販売中
タイ	ケアリーヴ™ Cesablic™	○ 販売展開中
ベトナム	ケアリーヴ™	△ 販売展開中
インドネシア	Panfix™ セルローステープ	△ 販売準備中
オーストラリア	Cesablic™	○ 販売展開中
中央アジア (カザフスタン)	Cesablic™	△ 販売中
中東 (UAE)	Cesablic™	△ 販売展開中
ヨーロッパ (EU)	Cesablic™ 和紙マスキングテープ	○ 販売中 ○ 当期回復
フランス	ケアリーヴ™	△ 販売取組中

第10回 ニチバン巻心 ECOプロジェクト

第10回
ニチバン巻心
ECOプロジェクト

**テープの巻心を集めて
緑の地球を守ろう!**

巻心受付期間 2019年9月2日(月)～12月27日(金)

モッピー キップロ

- 1 つかう
- 2 のこる
- 3 おくる
- 4 地球のために



ニチバン巻心 ECOプロジェクトとは

「ニチバン巻心ECOプロジェクト」は、みなさんの協力のもと粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するエコ活動です。集まった巻心は古紙回収業者に買い取ってもらいダンボールに再生。さらにその利益と、巻心の個数に応じたニチバンからの支援金を緑を守る2つの取り組みに役立てます。

① マングローブの植樹



環境NGO「イカオ・アコ」に寄付してマングローブの植樹・メンテナンスに役立てます。プロジェクト開始からこれまでに約20万本のマングローブを植樹。すくすくと立派な森をつくっています。

② 「森のしずく」保全活動



島根県邑智郡、江の川流域で「森のしずく」保全活動を開始します。植林や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにしたり、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高める取り組みです。

障がい者支援



一般社団法人 障がい者自立推進機構と
シルバーパートナー契約を4月1日に締結
同機構が推進する「パラリンアート」の活動をサポート



NPO法人日本ブラインドサッカー協会と
サプライサービスパートナー契約を4月1日に締結
大会会場運営で使用するテープ製品類の提供を通じて
ブラインドサッカーの活動をサポート

セロテープ®️工作を通じた社会貢献活動 「第1回みんなのセロテープ®️工作 ワークショップ」



子どもたちの作品 (一部)



工作中的様子

ドイツ国際平和村の 医療支援活動をサポート

*ドイツ国際平和村とは一 戦争や内乱で負傷し、母国で治療を受けられない子ども達の医療支援
活動を行っているNGO団体です。



ドイツ国際平和村イベント



寄付贈呈式の様子

東日本大震災への復興支援活動

福島県いわき市に所有する土地（遊休不動産）の 「被災者向け仮設住宅用地 無償貸与」

こちらの仮設住宅に居住されていた全ての方が恒久住宅
に移られ、現在の利用者は0名となりました。

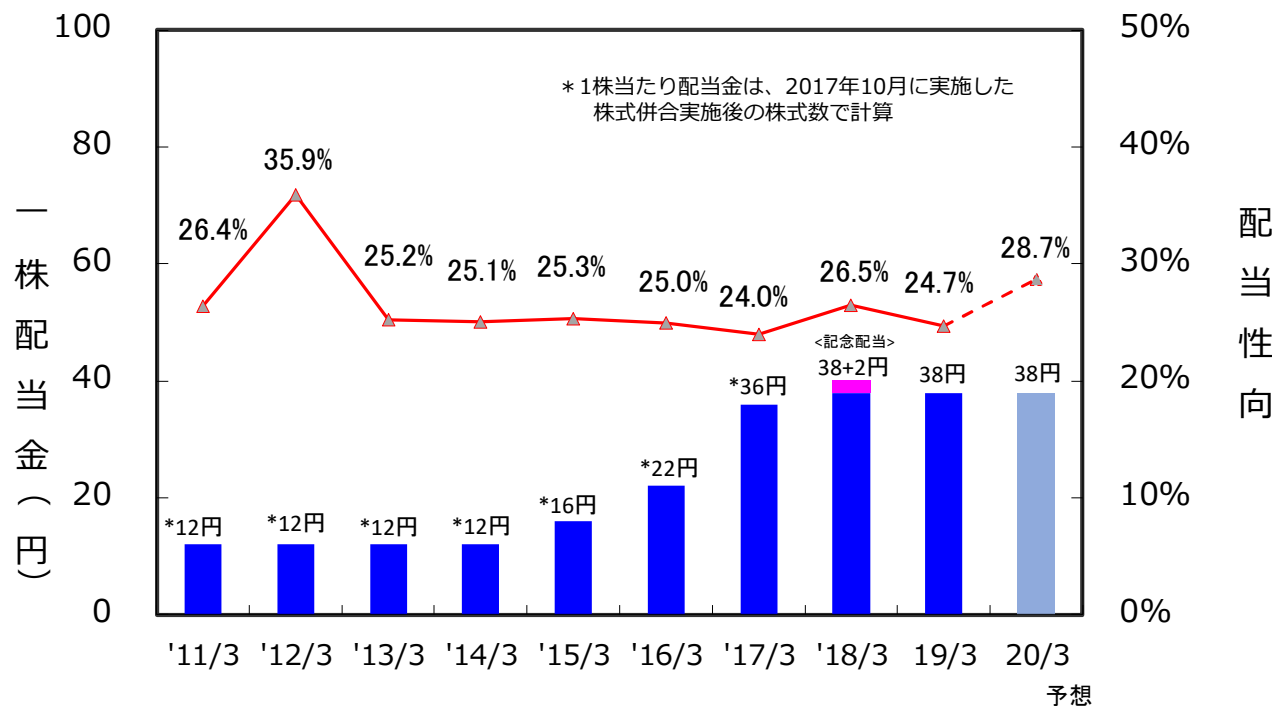
株主還元

安定した配当の実施を基本に 連結ベースの配当性向25%を目処とする
業績に連動した配当を継続する方針

2019年3月期：38円

2020年3月期予想：38円

1株当たり年間配当金と配当性向



●株主優待制度



贈呈内容の例

1単元（100株）以上を保有する株主様を対象に当社製品詰合せ（3000円相当）を贈呈



目次

1. 2020年3月期第2四半期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 当期（2020年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】
5. 《ニチバン》について

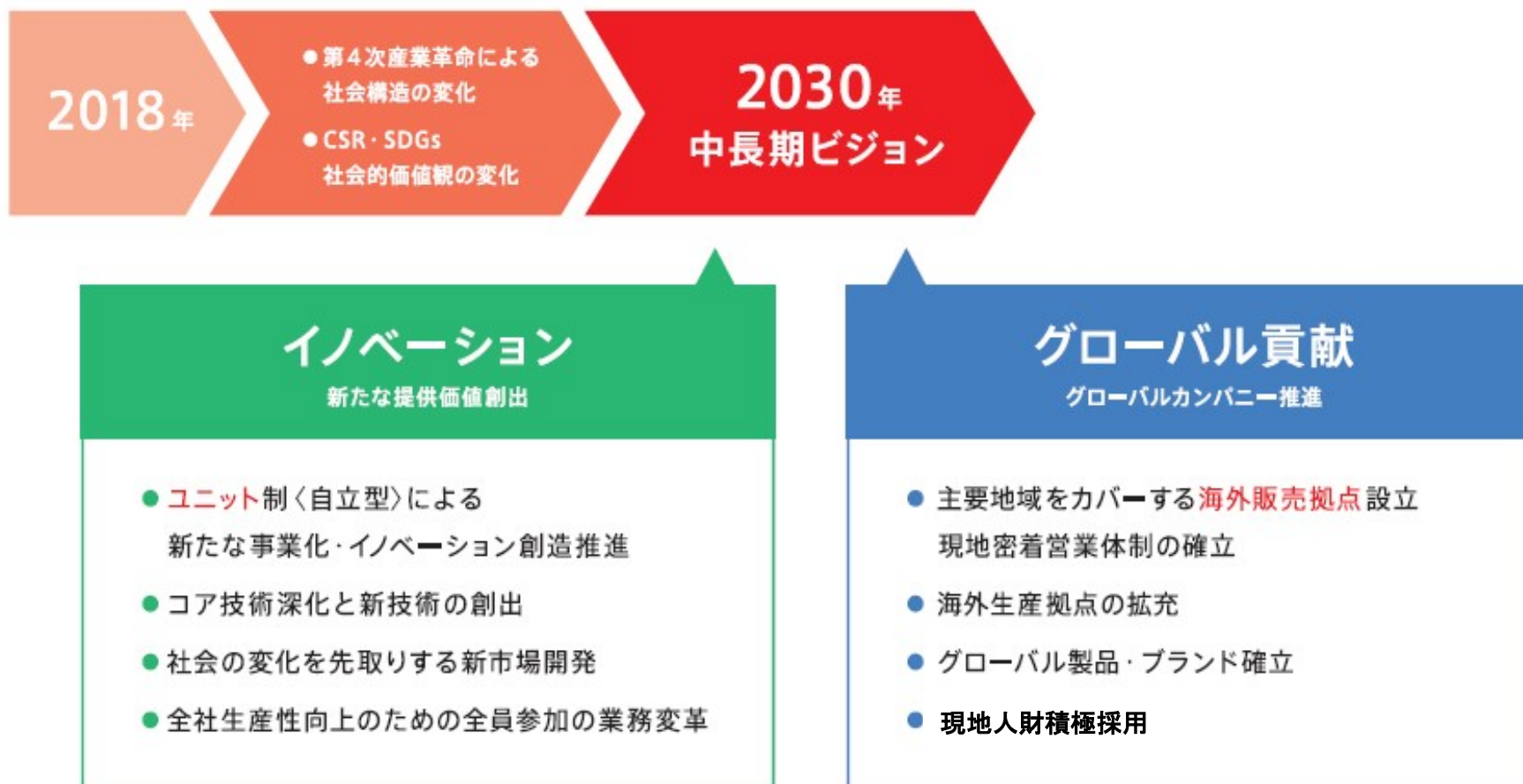
NICHIBAN GROUP 2030 VISION

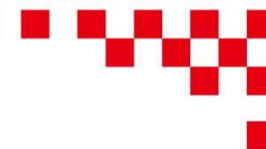
20**30**年度 快適な生活を支える価値を創出し続け グローバルに貢献する企業へ！

新製品比率 **30%** ・ 海外比率 **30%**



NICHIBAN GROUP 2030 VISION

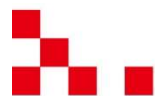




〈中長期ビジョン実現に向けて〉

NICHIBAN GROUP 2030 VISION 実現の**礎**となる

「**進化・深化**」と「**変革**」の5ヶ年計画とする



中期経営計画

取組み重点テーマ



設備投資総額 年間 25億円～50億円規模を計画

メディカル事業関連

成長戦略に基づく医薬品など
生産能力増強 生産性向上

- 医薬品製造設備
- 医療機器※製造設備

※絆創膏 医療施設向け粘着製品

テープ事業関連

老朽化設備更新
既存設備の効率化
脱溶剤推進

- コーティング処理剤製造設備（更新）
- 省人化・省力化対応設備
- 脱溶剤対応設備

I T 関連

AI・IoT積極活用
戦略的データ活用
基幹業務プロセス最適化

- 顧客/販売戦略支援システム
- 基幹業務システム（更新）

中期経営計画

取組み重点テーマ推進状況

イノベーション創出

2019年度組織改定 R&D機能強化 専任部署新設

- ◆ TDSユニット：新たな経皮吸収製剤の開発企画を推進
- ◆ TRDユニット：テープ事業の新たな大型新製品開発・育成を推進

コア技術の深堀り、マーケットイン開発、オープンイノベーション等共同開発スキーム活用を取組みを推進

グローバル展開・拡大

現地密着営業強化

- ◆ NICHIBAN THAILAND(販社)：東南アジア・南アジア市場の拡大に向けて積極的な営業活動を推進
- ◆ デュッセルドルフ駐在員事務所：将来の販社化を見据えて、欧州市場顧客の調査、情報収集を推進

グローバル人財の獲得・育成、業務提携・M&A活用
生産・品質管理・知財権管理等の海外対応強化を取組みを推進

AI・IoT積極活用

2019年度組織改定 AI・IoT活用 専任部署新設

- ◆ AIT推進ユニット：事業環境変化への迅速な対応、業務プロセス変革のためのAI・IoT活用を推進

戦略的データ活用と社内業務生産性向上に向けたIT導入を取組みを推進

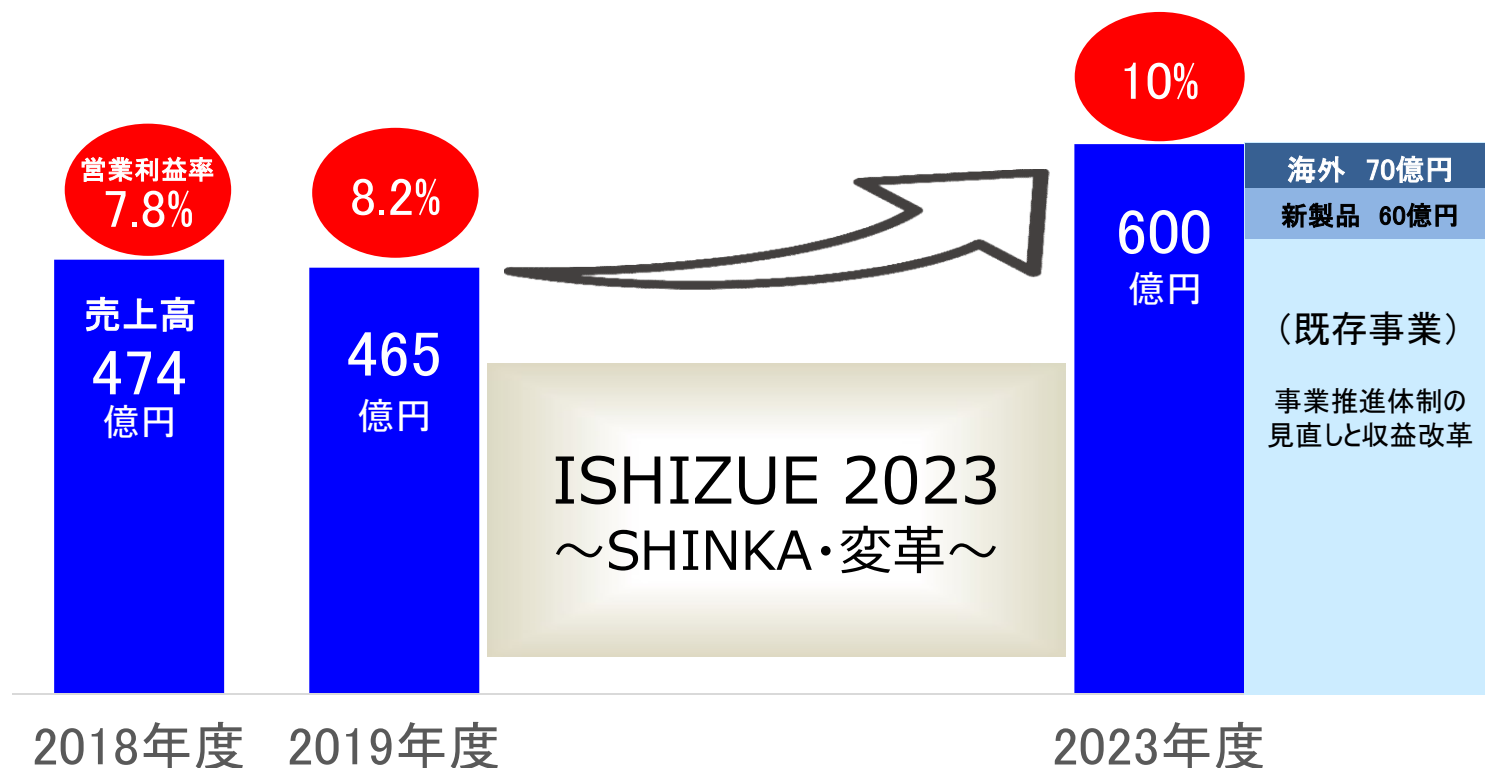
■ 2023年度

営業利益率 10%

売上高 600億円

R O E 10%

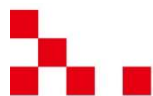
海外売上高 70億円 (10%以上)
新製品売上高 60億円 (10%)





目次

1. 2020年3月期第2四半期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 当期（2020年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】
5. 《ニチバン》について



ニチバンについて

会社概要

- 創 業 1918年（大正7年）1月
- 事業概要 メディカル事業・テープ事業
- 資本金 5,451百万円
- 営業拠点 東京（本社）・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡
- 生産拠点 埼玉工場・テープ安城工場・メディカル安城工場
- 従業員数 1,275名（連結）・767名（単体） ※2019年9月30日現在

- 子会社・関連会社
 - ニチバンプリント株式会社
 - ニチバンテクノ株式会社
 - ニチバンメディカル株式会社
 - NICHIBAN（THAILAND）CO.,LTD.
 - UNION THAI-NICHIBAN CO.,LTD.
 - 大東化工株式会社
 - 株式会社飯洋化工



ニチバンについて

沿革

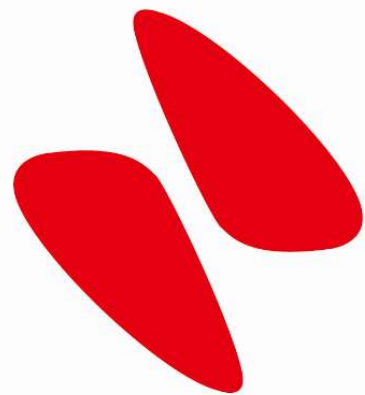
- 1918年 1月 東京都南品川に「歌橋製薬所」として創業
- 1934年12月 株式会社歌橋製薬所設立
- 1944年 9月 “絆創膏製造業企業整備令”により 全国の絆創膏製造業者（25社）が統合され「日絆工業株式会社」と改称
- 1948年 6月 登録商標『セロテープ®』の市販開始
- 1948年 6月 商号を「日絆薬品工業株式会社」と改称
- 1961年 1月 社名を「ニチバン株式会社」と改称
- 1968年 4月 東京・大阪株式市場第一部に上場
- 1976年 5月 「大鵬薬品工業株式会社」が資本参加
- 1993年 3月 決算期を11月から3月に変更
- 1994年10月 本社を東京都文京区関口に移転
- 2018年 1月 創業100周年

■ 注意事項

この資料には、当社の現在の計画や業績見通し等が含まれております
それら将来の計画や予想数値等は、現在入手可能な情報をもとに
当社が計画・予測したものです
実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合が
あり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません

■ お問い合わせ先

執行役員 経営企画本部長 遠藤 和彦
T E L : 03-6386-7190
F A X : 03-6386-7191
E-mail: irinformation@nichiban.co.jp



NICHIBAN

**ぴったり技術で
明日をつくる**